



2021年度 特定非営利活動法人ピッコラーレ
日本財団助成金事業完了報告書
添付資料①事業内容詳細

「にんしん」をきっかけに、
誰もが孤立することなく、
自由に幸せに生きていける社会へ

2022年4月15日

① ユースのための保健室運営



事業の概要 ① ユースのための保健室運営

事業の目的

対象者

にんしんをきっかけに困難や不安を抱えた概ね 10~30 代の女性

事業期間／履行時間／実施回数

2021年4月～2022年3月31日

場所

ぴさら(NPO法人ピッコラーレが運営する若年妊婦の居場所)

中高生センタージャンプ東池袋、長崎@豊島区(ぴこタイム

<https://www.city.toshima.lg.jp/257/kosodate/kosodate/hokago/jump/025456.html>)

クローバーハウス@さいたま市浦和区

その他

生理用品やコンドーム、妊娠検査薬の配布、緊急避妊薬処方のための同行受診など

Project HOMEのイメージマップ

相談

- 妊娠・出産について
- 家族について
- これからの不安・迷い
- 中絶について など

就労

- 希望に沿った働き方のできる仕事
- やってみたい仕事 など

保健

- コンドーム
- 妊娠検査薬
- 生理用ナプキン
- 町の保健室
- 性教育
- カウンセリング など

食事

- 好きなものを食べられる
- 好きなものをつくってもらえる
- 料理の仕方を覚えられる など

仲間

- ピアサポート など

学習

- 落ち着いて学ぶことができる
- いつでも教えてくれる人がいる
- 学びが仕事につながる など

福祉

- 関連行政への繋ぎ
- 民間団体との連携
- ネットワーク会議 など

project HOMEは「潮溜まり」をつくるプロジェクト

保健室事業

オープンで、社会と安全につながれる場

シェルターのように閉ざされた居場所ではなく、地域に開かれ多様な関係者が出入りをしている場。さまざまなネットワークが生まれる場。

★2021年度の保健室活動

出張保健室・出張講座・動画配信等を中心に
来所型のピコの保健室も実施

出張保健室 ジャンプ長崎 4回

ジャンプ東池袋 4回

クローバーハウス 9回

wakuwakuホーム 12回

出張講座 まなぽーと大原 1回

千早学童クラブ 1回

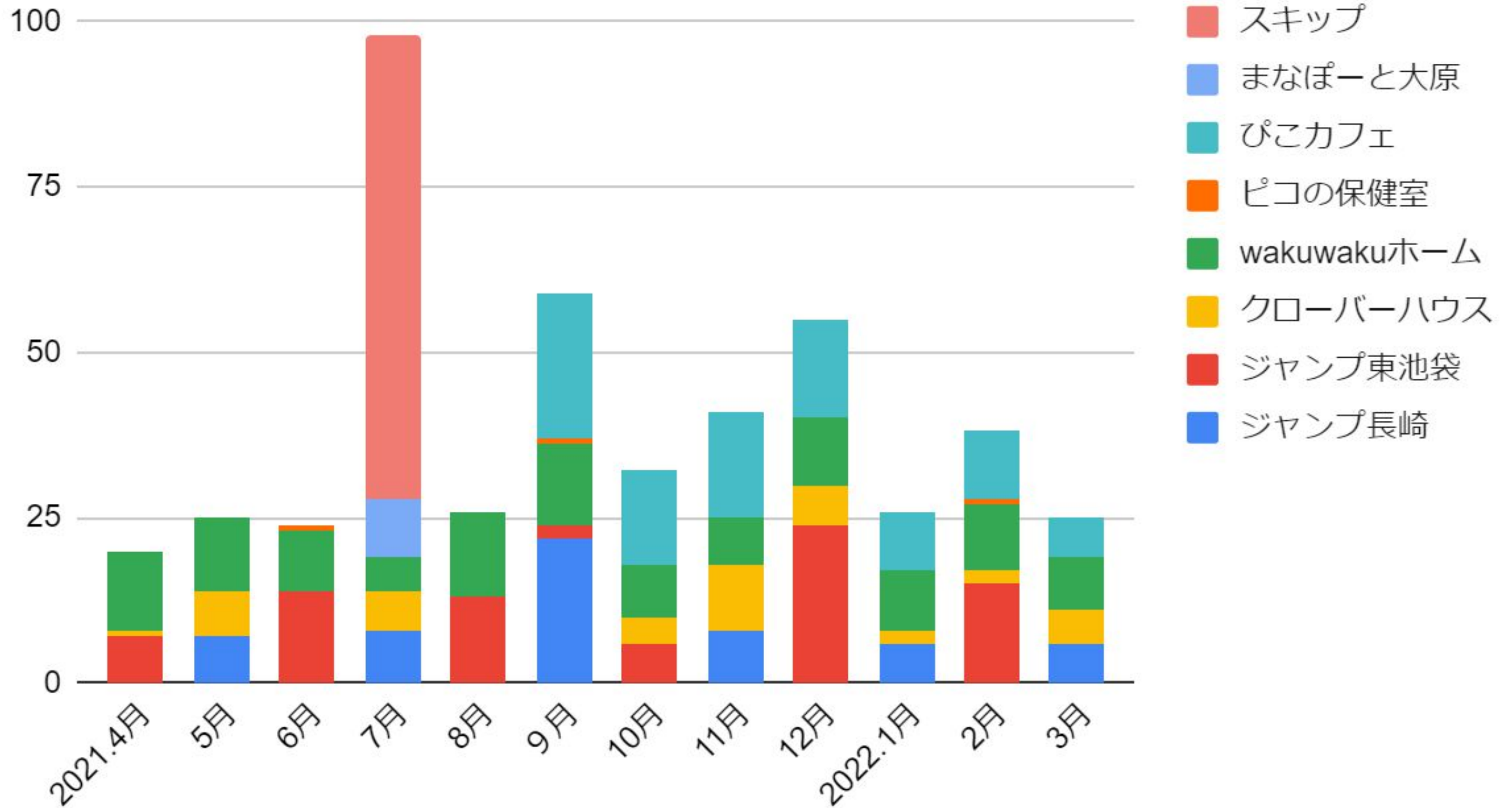
豊島区若年女性つながりサポート事業出張相談会

「ぴこカフェ」9月からスタート 7回

保健室 対応数

	ジャンプ長崎	ジャンプ東池袋	クローバーハウス	wakuwakuホーム	ピコの保健室	ぴこカフェ	まなぽーと大原	スキップ	Total
2021.4月		7	1	12	0				20
5月	7		7	11	0				25
6月		14		9	1				24
7月	8		6	5	0		9	70	98
8月		13		13	0				26
9月	22	2		12	1	22			59
10月		6	4	8	0	14			32
11月	8		10	7	0	16			41
12月		24	6	10	0	15			55
2022.1月	6		2	9	0	9			26
2月		15	2	10	1	10			38
3月	6		5	8	0	6			25
合計	57	81	43	114	3	92	9	70	469

保健室事業



★YouTube「コンドームの使い方」閲覧回数2.5万回
 「コンドームの種類とサイズ」2.8万回「これって着床出血？」1.3万回



ピコの保健室 コンドームの正しい付け方 NEW!
 663 回視聴・8 か月前



ピコの保健室 妊娠検査薬の使い方
 273 回視聴・9 か月前



ピコの保健室 コンドームの種類とサイズ!!
 2.8万 回視聴・9 か月前



生理がおくれているの
 686 回視聴・10 か月前



ピコの保健室 コンドームの正しい付け方
 2.5万 回視聴・1 年前



ピコの保健室からクリスマスプレゼント☆
 218 回視聴・1 年前



ピコの保健室 今回のテーマ ~アプリで生理予定日なのに生理が来ない!!~
 2326 回視聴・1 年前



ピコの保健室 ~生理痛ってどれくらい痛い?~
 1166 回視聴・1 年前



ピコの保健室 ~排卵って何?~
 350 回視聴・1 年前

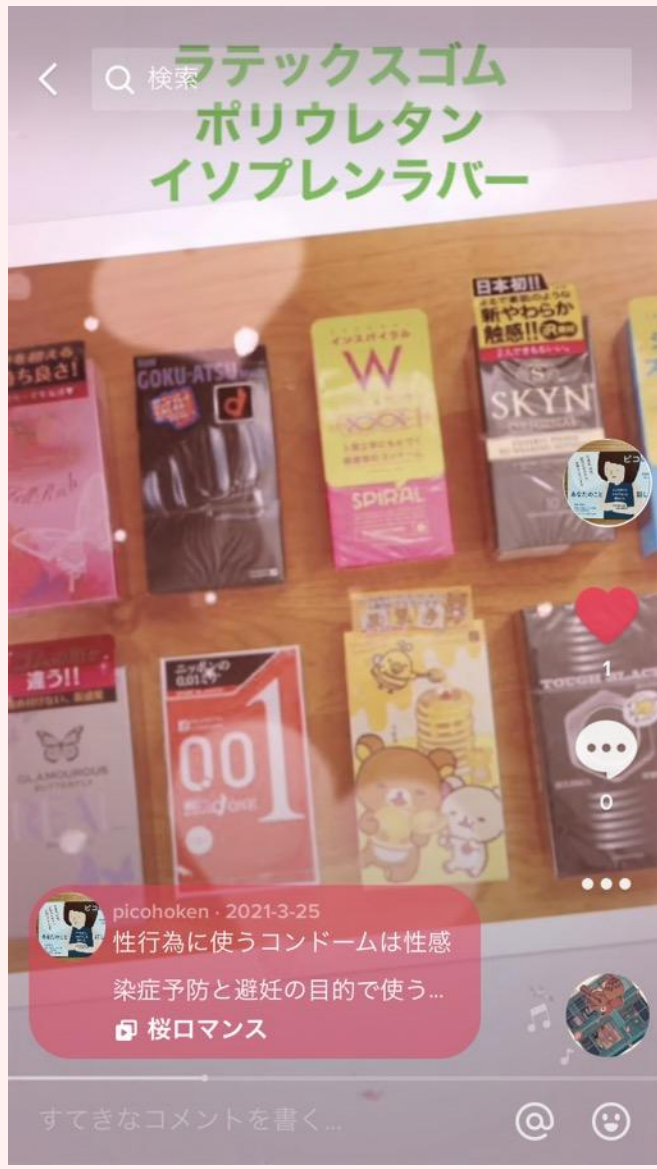


ピコの保健室 ~これって着床出血?~
 1.3万 回視聴・1 年前



★TikTok再生回数

- 「コンドームにはいろいろな種類があるよ」100回
- 「アフターピルはどんな時飲むの？」 9,000回
- 「妊娠検査薬をためしてみた」 24,000回





ピコの保健室

★出張保健室 ジャンプ長崎・東池袋

中高生専用の児童館。コンドームの装着法もよくわかっていない状況の子たちが、タブレット学習が増え、それを使って、AVなどを日常的に見て、大人たちに性的な質問を投げかけてくる為、ピコタイムではコンドームの装着練習や使わないとどんなことが起きるかについて話をしたりすることも多い。女子では以外と自分の身体に起きている生理の目的やしくみについても知識がない子も多い。付き合っているパートナーとの関係性でそれぞれが相談してくることもある

プレゼントのナプキン



コンドームの種類



低用量ピルを飲んでいたら、性行為においてコンドームを使わなくても良い



ピコの保健室



★出張講座

6月23日

70名の子どもたち

千早学童クラブ

(スキップ)



ピコの保健室



★出張保健室 クローバーハウス(浦和) 社会的養護出身者のアフター会場

にんしんSOS東京とつながって支援していた子がここで再会することもある
中絶のことで悩んでいて、病院受診同行をしたり、実際に妊娠をして継続している子の妊娠相談を行うことも。



パートナーからDVを受けていることがわかりながらも、離れられない子もいる。妊娠検査薬を試すこともある。

居場所のスタッフからの感想

性的な知識も十分ではなく、危うい行動をしている子たちがいるので、ピッコラーレの人に来てもらって、話をしたり、話を聞いてもらえることは本当にありがたいです。性被害にあっている子たちも実際に多いです。学校にあまり通えていなくて、性教育を習った記憶もない子たちもいます。最初のうちは性の話とか苦手だと言って聴こうとしなかった子たちも、だんだん、耳を傾けるようになってきたり、実際に、コンドームに触って練習したりと変化も出てきています。来てもらうことは本当にありがたいし、自分達だけでは、なんて助言したら良いかわからないこともあるので、今後も続けてきていただければ本当にありがたいです。

子ども達にとっても自分にとっても他の団体と繋がりを持つということは大事だと思っている。誰かに来ていただけるのは、自分にとっても癒やしになっている。

今年度、ピコタイムを実施していただき中高生の人たちだけでなく私たち職員も大変勉強になっております。職員には話せないようなことを、ピコタイムでは話したり相談している様子を見られ、中高生にとって良い時間をいただいていると思っています。

子どもたちは、性のことに興味があっても、興味本位な知識しかなく、AVなどでの情報が多い。正しい知識を教えてもらったり、何でも聞くことができる大人の存在はとても大切であると考えます。そのような場所はあまりないのではないかと思います。この活動を通して、職員も一緒に考えたり、教えられたり、気になる子をマッチングしたりすることで、よりよい関係を作っていけていると考えます。



ピコの保健室

★出張講座 6月20日 板橋区大原生涯学習センター性教育講座

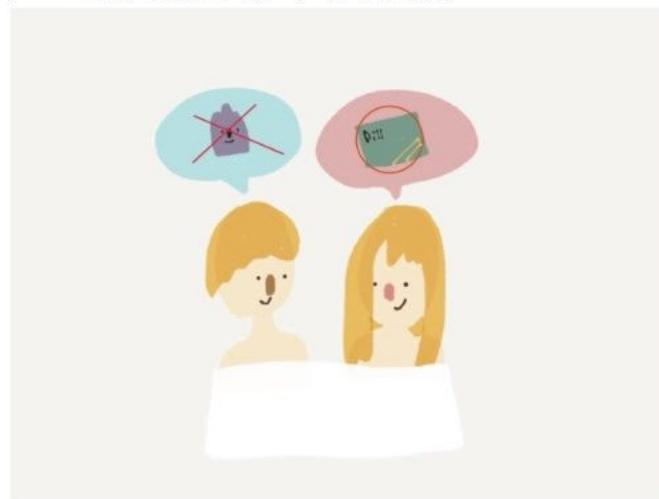
男子5名(中学生4人・19歳1名)

女子4名(40代1名・中学生2名・高校生1名)

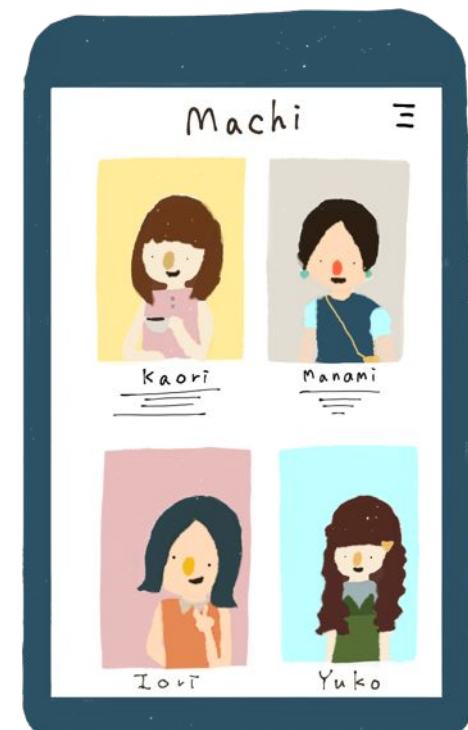
マスターベーションをし過ぎると死ぬことがある



低用量ピルを飲んでいたら、性行為においてコンドームを使わなくても良い



マッチングアプリで出会った人とリアルに会うということは性行為に同意しているということだ



この一年間を振り返り、来所にこだわらず、いろいろな場で、からだところろと性に関する関わりを実践する機会を得て、今を生きている若年の子たちのリアルな感覚、ニーズに少しずつ触れることができた。SOSにつながるその手前の予防的対応は必要な課題であると感じる。

一方的なカリキュラムベースな性教育ではなく、本人たちの本当に知りたいことや、わからないことを、人とオープンに話すことができた子たちからは、話せてよかった、何で学校では話してくれないんだらうと言う反応が返ってくる。

家族や人との関係に悩んでいる人も多い。自分のからだやところろのことなのに、見えていなかった、考えていなかったことに気が付き、考えるきっかけとなっている子もいる。

抱えていることはあっても、人に相談するほどの事だと思っていない人は多い。このような若年にとっては、アウトリーチをすることは必要だと職員も感じているが、そこになかなか予算が付かず、ボランティアベースなところろをどうするかが課題である。

今後の活動

対面では多くの人には会って話すことは難しい現状があることがわかったが、SOSの相談には、性の知識の不足から不安で相談してきている人はたくさんいる。

SOSと保健室と入り口を二つと考え、保健室で性教育が自分を守ること、ジェンダーやリプロの視点が生きる上でも大切なことを発信していきたいと思います。

講演活動、動画配信も継続予定。

② 居場所のない若年妊婦のための ワンストップ拠点づくり



事業の概要②居場所のない若年妊婦のためのワンストップ拠点づくり

事業の目的

幼少期から虐待や貧困、DVや精神疾患などを背景に、社会から孤立し適切なサポートに繋がることの出来ない10代20代の若年妊婦の存在が、全国の妊娠葛藤相談窓口を通して浮き彫りになっている。本事業では、そのような状況にある妊娠している女性に対し、医・食・住を提供する居場所型のサポートと、利用者のニーズに合わせて適切な支援機関や団体に繋いでいく相談支援活動を通して、居場所のない妊婦が安心して過ごすことのできる生活基盤づくりに取り組む。

対象者

ピッコラーレが運営する、妊娠葛藤相談窓口に繋がった居所のない若年妊婦及び行政から依頼された居所のない若年妊婦

事業期間

2021年4月～2022年3月31日

場所

東京都豊島区

事業の背景にある課題

居所のない妊婦の存在 ①

いつだってひとりだった

彼女たちは、妊娠するずっとまえから、
いくつもの困難をかかえていました。

貧困



虐待・ネグレクト

家に居場所がない



安心できる居場所はどこにもなかった

だれにも気づかれず、だれかにSOSを出しても受けとめられず、
やがて、SOSを出すことをあきらめ、ひたすら、ひとりでなんとか生きのびてきました。

事業の背景にある課題

居所のない妊婦の存在 ②

もっともハイリスクな特定妊婦は安心して安全な居場所がない妊婦

⇒ 妊娠によって居場所を失う・居場所がないから妊娠をする

特定妊婦は出産後の子どもの養育について出産前において支援を行うことが特に必要と認められる妊婦のことをいう（児童福祉法第6条3第5項）

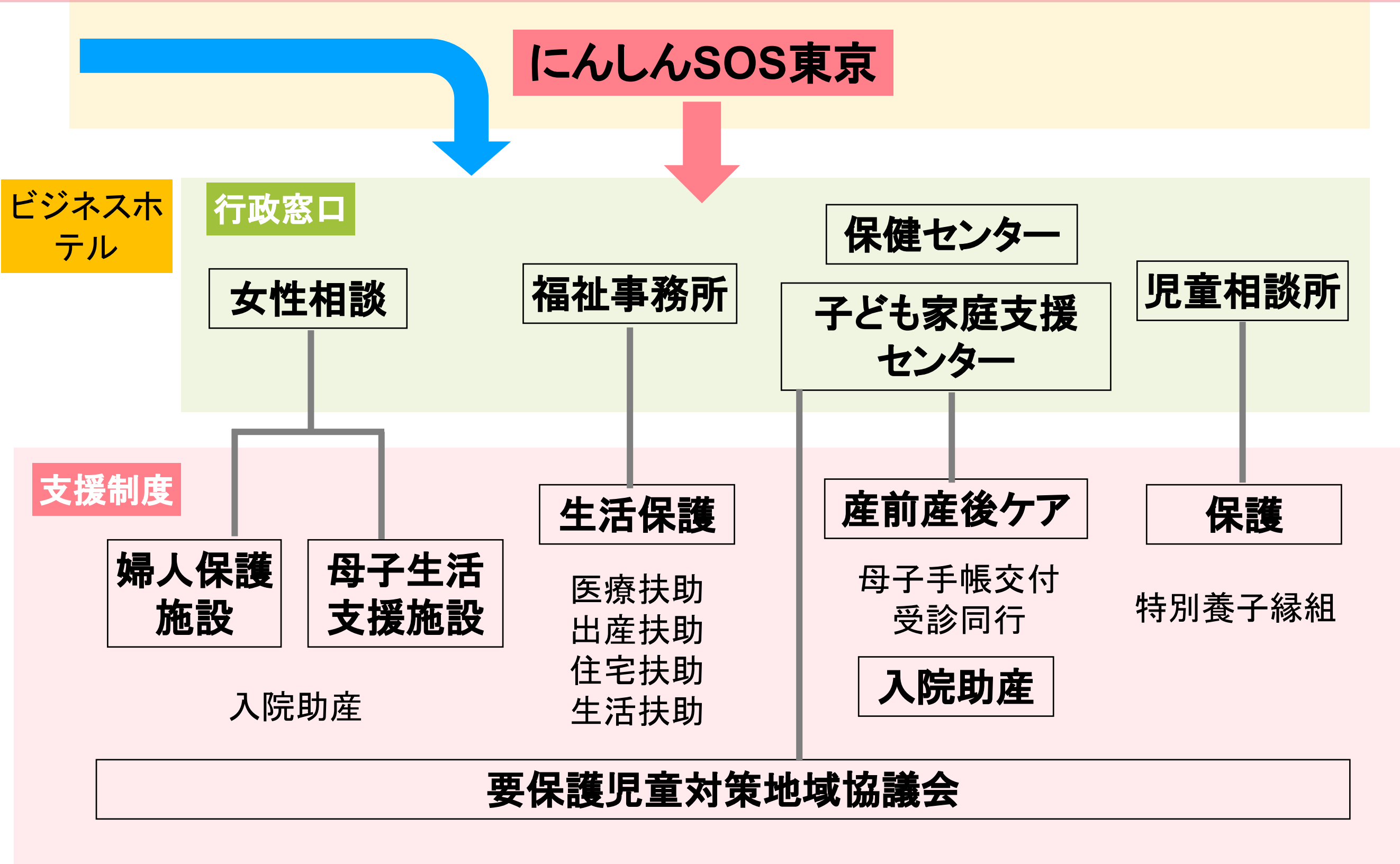
⇒ 特定妊婦の背景

若年、被虐待歴、原家族が機能不全、支援者の不在、不安定な雇用、借金、衣食住の劣悪な生活環境、妊娠葛藤（思いがけない妊娠）、母子健康手帳未発行、妊娠後期の妊娠届、妊婦健康診査未受診、上の子の養育困難、DV、精神疾患など

特定妊婦は児童福祉法に定義されているが、児童福祉法を根拠法とする制度の中に特定妊婦のためのものはほとんどない

⇒ 居場所のない特定妊婦が利用するのは売春防止法やDV防止法などを根拠法とする制度や支援

居場所のない妊婦に対する支援の流れ 主に関係する行政窓口と支援制度(母子保健・福祉)





居場所事業



HOMEのない妊婦のための

project HOME

居場所を失った若年妊婦に「いつでもおいで」と言えるHOMEを作りたい

project HOME はこんな場所

1 安心して 休息できる 場所



- 妊娠の週数に関わらず、いつからでも(つながったその日からでも)身を寄せることができます。
- 利用に費用はかかりません。また土日に関わらず利用できます。
- 妊婦さんに必要な衣類や衛生用品があります。
- 宿泊のできる個室が2つあります。
- 妊娠検査薬での検査をしたり、妊婦健診の受診や行政の窓口へ出かけるときはスタッフが同行することもできます。
- キッチンがあり、私たちと一緒に、あるいは個室で一人でも、食事をすることができます。その日に食べたいものを一緒に作ったり、赤ちゃんが生まれた後には離乳食を作ることもできます。
- Wi-Fiが使えます。ポケットWi-Fiや携帯電話の貸し出しもします。

2

未来のことを
ゆっくり
考えられる
場所



- 勉強をしたい、アルバイトをしたいという場合は連携先の支援者につながることができます。また、勉強や仕事の間は、子どもを預けることもできます。
- 自分の身体や心のこと、避妊や妊娠のこと、パートナーのことなどを相談できます。コンドームも無料で提供しています。
- この場所を離れたあとの暮らしについて、スタッフと一緒に考え、必要な支援者と出会うことができます。

3

しんどくなったら、
またSOSを
出せる場所



- この場所を離れたあとでも、例えば子どもと二人きりの生活がつらくなったときなど、休息先として親子で宿泊したり、子どもを預けて一人の時間を作ることができます。
- いつ立ち寄ってもウェルカムです。話し相手がいる、仲間との出会いがあります。

..NPO法人ピッコラーレ × 認定NPO法人PIECES.*.*



居場所

HOMEを持たない、漂流妊婦に安心と休息と希望を届けたい。

それが、project HOMEのミッション

ミッション1

居場所をもたない彼女たちに
安心して安全に休むことのできる
場所と時間を提供します。

ミッション2

彼女たちが抱えている困難を
一つ一つ手放すことができるように
一緒に考え支えます。

ミッション3

彼女たちが、
社会と安全につながるできるように
社会に希望が持てるように、
いくつものつながり先を確保します。

ミッション4

彼女たちの存在を
社会に伝え続ける発信地となります。

居場所のない若年妊婦のための拠点 ぴさら

単発的な支援ではなく、**包括的・長期的な支援**による若年妊婦の未来を支えることができる「**ワンストップの居場所**」の必要性

これまでの支援

- 一時的な保護
- 衣・食・住の機能のみの提供など

必要とされる包括的・長期的な支援の機能・提供価値

① 一時的な住まいの提供

② HOMEを感じられるような実家機能

③ 妊娠期から出産、産後の女性に対して必要最低限の医療保健的ケアと育児サポート

④ 権利擁護を念頭においたソーシャルワーク

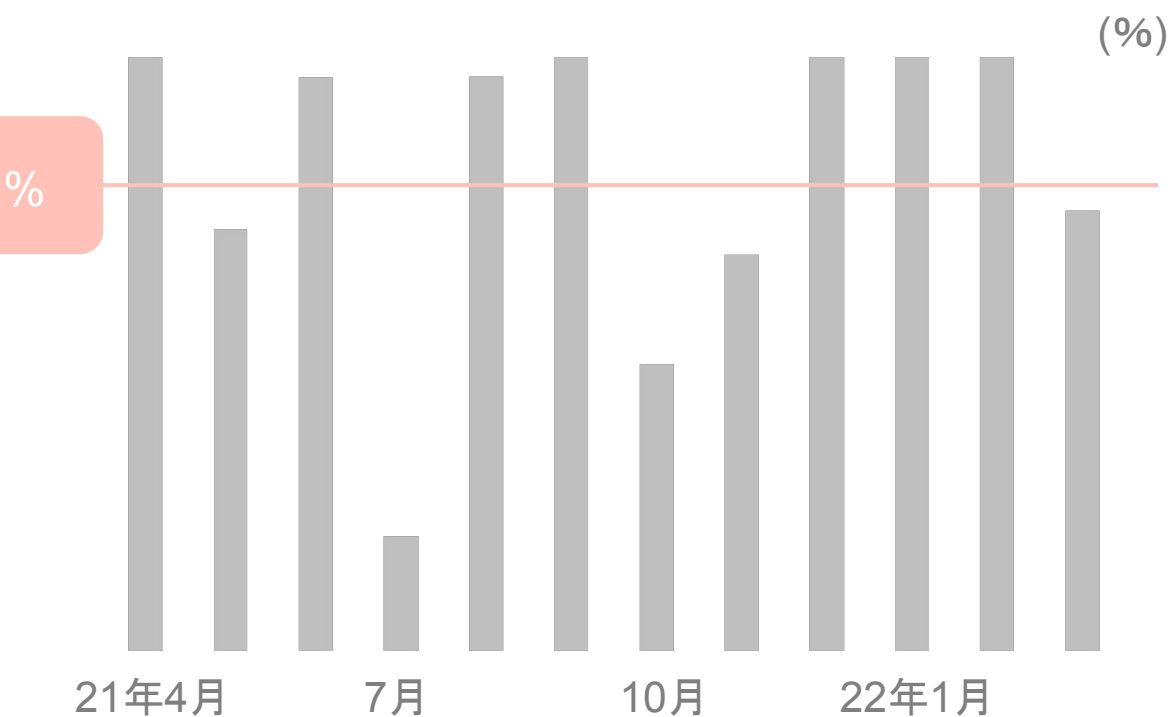
⑤ 大きな変容は求めない、見込まない

稼働率

ぴさら施設に1人でも利用者がいる
日数割合

81%

295日/365日

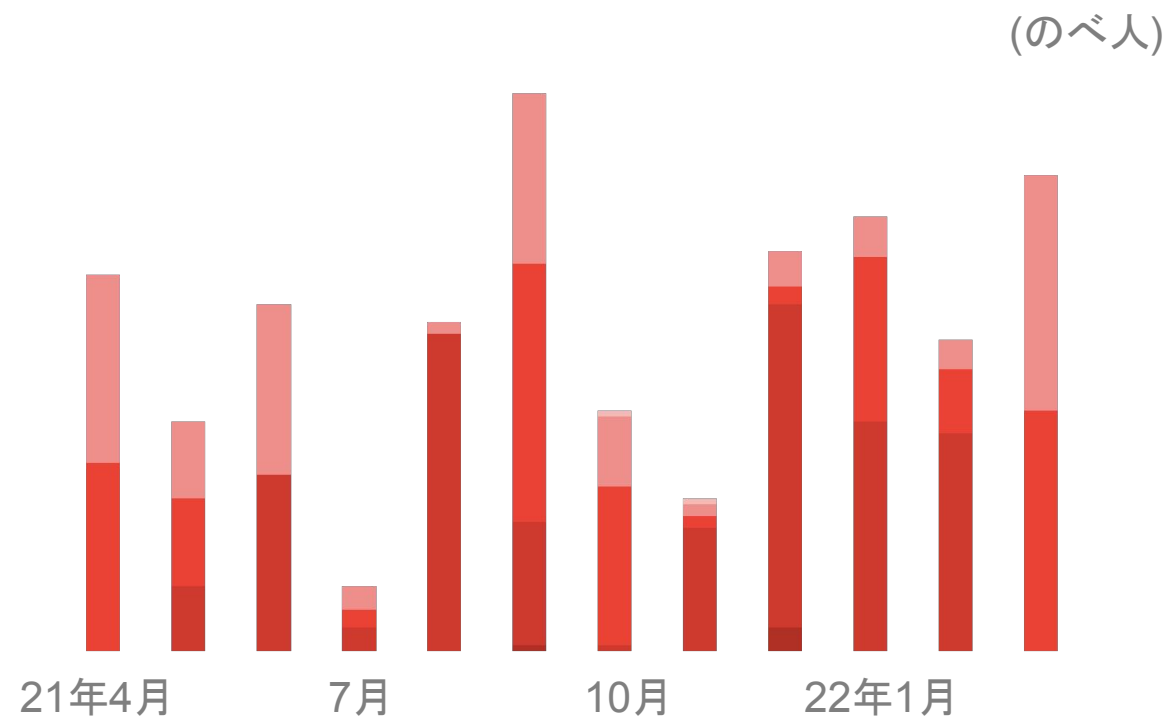


延べ利用者

ぴさら施設の延べ利用者数
(新生児、パートナー含む)

667人

ステイ 578人・デイ 89人



ぴさらステイ利用 8ケースの背景 2021年4月～2022年3月

若年/
長期

平均年齢

20歳

16～26歳

平均滞在期間

52日

ハイ
リスク

未受診・母子手帳無し

50%

要保護児童対策地域協議会

75%

妊娠後期(28週以降)

75%

広域/
多
機関連
携

本籍23区外

88%

北海道・中国地方の方も

連携する平均機関

数
10組織

ぴさらステイ利用 8ケースの詳細 2021年4月～2022年3月

ケース番号	A	B	C	D	E	F	G	H
年齢	18	16	17	19	21	22	21	26
初回相談日	2021/09/14	2021/09/28	2021/10/22	2021/06/21	2021/08/02	2021/04/07	2021/01/23	2021/05/18
初回経路	行政機関	本人からメール	行政機関	民間支援団体	民間支援団体	東京都福祉保健局	本人からメール	ピッコラーレ顧問
ステイお試しの有無	無(見学のみのみ)	無(見学のみのみ)	無(見学のみのみ)	無	無(見学のみのみ)	無(見学のみのみ)	無	有
ステイ開始時状態	妊娠中	妊娠中	妊娠中	妊娠中	妊娠中	妊娠中	妊娠中	妊娠中
ステイ開始日	2022/02/08	2021/12/08	2021/11/11	2021/08/11	2021/08/30	2021/08/02	2021/03/05	2021/06/02
ステイ終了日	(3/31利用中)	(3/31利用中)	2022/2/3	2021/8/29	2021/10/10	2021/10/13	2021/05/11	2021/06/30
滞在期間	(3/31利用中)	(3/31利用中)	84	19	41	72	77	28
ステイ開始時週数	38	29	10	11	36	34	39	16
開始時母子手帳の有無	有	有	無	有	無	有	無	無
妊娠がわかった時の居場所	自宅アパート	実家	M病院	自宅アパート	ビジネスホテル	ネットカフェ	ビジネスホテル	自宅(いとこ名義)
ステイ前居場所	婦人保護施設	実家	M病院	自宅アパート	ビジネスホテル	ネットカフェ→母子生活支援施設	ビジネスホテル	自宅(いとこ名義)
ステイ後居場所	母子生活支援施設	未定	婦人保護施設	自宅アパート	実家	施設	彼と同居	母子生活支援施設
ステイ後地域	S区	未定	N区	東久留米市	O県O市	T都N区(S寮)	K県K市	T区
生活保護の有無	開始時既に有	無	開始時既に有	開始時既に有	申請→生保有	申請→生保有	申請→取り下げ	申請→生保有
要対協議	実施	実施	実施	実施	実施	—	実施	—
一時保護委託(女性相談・児童相談所)	有(女性相談)	有(児童相談所)	有(女性相談)	有(女性相談)	有(女性相談)	—	—	有(女性相談)
妊婦健診病院	A病院	D病院	L病院	B病院	K病院	O病院	O病院	N産婦人科→T病院
出産病院	A病院	E病院		T病院	K病院	O病院	O病院	—
病院所在地	S区	I区	S区	T区	T都O区	T区	T区	—
出産・中絶	出産	出産	中期中絶	出産	出産	出産	出産	出産
出産日	2022/02/16	2022/02/28	—	2022/3/4	2021/09/02	2021/09/08	2021/03/19	2021/10/29
出産週数	39	41	—	41	36	不明	41	38
養育の有無	有	有	無	有	有	特別養子縁組	有	有
ぴさら滞在中支援・できごと	高校編入手続き	F歯科受診	母子手帳交付	支援者MTG(ピッコラーレ・wakuwaku・弁護士)	銀行口座開設	住民票取り寄せ	郵便局口座開設	債務整理(顧問弁護士)
	1ヶ月健診	PCR検査	火葬に同行(多磨霊園)	物件見学	ピッコラーレ	身分証取得(パスポート)	マイナンバー作成	生活保護申請
	親子里親	Gクリニック(泌尿器科)	PCR検査	成人式洋服準備サポート	繋がる電話	銀行口座開設	(車免許更新)	愛の家(母子生活支援施設)見学
	弁護士	1ヶ月健診	コロナワクチン接種	移動後のデイ利用あり		美容院	個人携帯契約	母子手帳交付手続き
	保育園申請	美容院	民間支援団体(NPO)S弁護士			施設見学	繋がる電話	皮膚科受診
	母子寮入寮への家具や生活物品準備	Hクリニック(皮膚科)	金銭管理			繋がる電話	パートナー育児支援(沐浴指導など)	上の子の保育園入園手続き
	パートナー育児支援(沐浴指導など)	T病院(泌尿器科受診)	施設見学			移動後のデイ利用あり	移動後のデイ利用あり	引っ越し
		ペット(ハムスター)	移動後のデイ利用あり					歯科受診
								上の子の七五三お祝い(パートナーも)
								移動後のデイ利用あり
								ペット(昆虫)
								メンタルクリニック受診診断書発行



ステイ利用者の背景から見えるニーズとぴさらで実践したこと

(1) 選択の種類によって居場所を分断しない

○ぴさら利用時にはまだその妊娠をどうするのか決まっていないことも多い。いくつかの選択肢の中から一つ一つのことを自分で決めていく、そのプロセスの中で葛藤が生じるため、その葛藤への伴走が必要。
また、その決断によって再び漂流してしまわないように、どんな選択をした場合であってもそのままぴさらを利用できることが大切。

→葛藤を防ぐのではなく、葛藤するプロセスを見守り支える スタッフも葛藤する

(2) 地域に開かれている

○シェルターではなく地域に開かれた場であり、様々な人と出会うことができる
関係団体と連携しながら運営する

→ 行政や地域の支援者とのこの場所での出会い、
ピッコラーレ以外にもいくつかの信頼できる頼り先を得ることができる

(3) 妊娠している女性とその家族を対象とする

○ 場合により上の子やパートナー、ペットも含めた家族のサポートのニーズにも応える

→ パートナーや家族との関係が変化する

(4) ピア的な支え合いがある

○ 共有スペースで生活を共に過ごす中で当事者同士の関わりがある
利用者同士が時間と体験を共有しながら、様々な選択肢について知る

○ ぴさら運営に利用者が参画し始めている

→ 支援する側される側という2つの役割に固定化されな・力を奪わない

「(どうしたいの?)って必ず聞いてくれる。どうしたいのか、うーんってなっても。それはちょっと他と違う。嫌だなんて思ってももう決まっちゃって。私には合わなかった。ピッコラーレはみんな、一瞬(うーん)って言って、どうしたいのか聞いてくれるよね」

「次の場所に行くけどさよならって感じがしない。
はい、おしまいってならないんだなあって。
だからまた困ったら連絡してもいいのかなって。」

ぴさらステイ利用者の言葉

「先のことはとても考えられない。決めたって、どうせ思い通りにはならないし」



「実家の代わりとして...。可能であれば、ぴさらで上の子の七五三のお祝いしたい。」

「Aちゃんがウェルカムパフェ! って、パフェ作ってくれて、それがとっても嬉しかったから。最初は部屋から出て行きにくかったけどそれで大丈夫だった。だからBちゃんにも作る」

「お風呂沸かしてくるー(当初お風呂に入る習慣がなく、スタッフが準備をして入るように促していたが、次第に自分で準備をして入るようになり)」

「マッサージしてー」

「大人は信用できない。嘘ばかりつく。」



居場所事業



個室で一人の時間と空間を確保
「ふたりがいい！」

1F 個室 × 2
バスルーム





居場所事業



2F リビング
ダイニング
キッチン

スタッフたち





居場所事業



行事やお祝いもみんなで。いつでも戻れる場所に。

day利用
@ぴさら



**必要なのは HOUSE ではなく HOME
HOMEとは？ HOMEだったら？**



2022年度に向けた課題
自治体に向けた事業化の働きかけ
⇒ 東京都・埼玉県・豊島区



新たな子育て家庭支援の基盤を早急に整備していくための支援

令和3年度補正予算案：602億円（安心こども基金に計上）

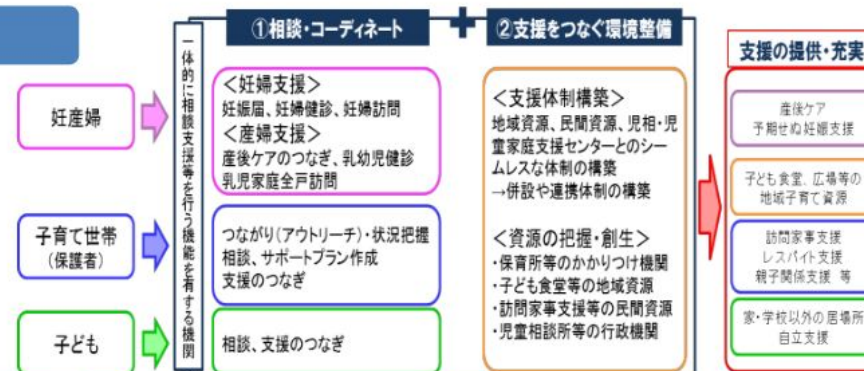
目的

市区町村の母子健康包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点を再編し、妊産婦、子育て世帯、子どもへの一体的相談を行う機能を有する機関の整備等を推進するとともに、支援を必要とする妊産婦、子育て世帯、子どもを対象とした新たな家庭支援（訪問支援等）を推進していくことで、包括的な支援体制の構築を図る。

支援内容

1. 母子保健と児童福祉の相談支援機関を再編した一体的な相談支援体制の整備の推進

- (1) 母子保健と児童福祉の一体的相談支援機関の整備に必要な整備費・改修費の支援
【母子保健・児童福祉一体的相談支援機関整備事業】
- (2) 母子保健と児童福祉の一体的相談支援機関における子育て世帯等を対象としたサポートプランの作成や地域づくり、ネットワーク構築等の推進
【母子保健・児童福祉一体的相談支援機関運営事業】
- (3) 若年等リスクを抱えた妊婦家庭を訪問し、状況把握等を行う取組の推進
【妊婦訪問支援事業】



2. 支援を必要とする妊産婦、子育て世帯、子どもを対象とした新たな家庭支援の推進

- (1) 子育て世帯等を対象とした訪問家事・育児支援の推進
【子育て世帯訪問支援臨時特例事業】
- (2) ペアレント・トレーニングの提供等、親子関係形成支援の推進
【保護者支援臨時特例事業】
- (3) 家庭や学校に居場所のない子どもの居場所支援の推進
【子どもの居場所支援整備事業／子どもの居場所支援臨時特例事業】
- (4) 子育て世帯のレスパイト支援の充実（親子入所支援・利用料減免等）
【子育て短期支援整備事業／子育て短期支援臨時特例事業／一時預かり利用者負担軽減事業】



（訪問家事育児支援）



（親子関係形成支援）



（子どもの居場所支援）

3. 支援の必要性の高い妊産婦・子どもへの支援体制の強化

- (1) 支援の必要性の高い妊産婦の滞在型支援の推進
【特定妊婦等支援整備事業／特定妊婦等支援臨時特例事業】
- (2) 児童相談所一時保護所の定員超過解消に向けた受け皿整備に必要な整備費・改修費の支援
【児童相談所一時保護所等整備事業】
- (3) 社会的養護経験者（ケアリーパー）に対する自立支援体制の整備
【社会的養護自立支援整備事業／社会的養護自立支援実態把握事業】



（支援の必要性の高い妊産婦の支援）



（社会的養護経験者の自立支援）

実施主体

都道府県・指定都市・児童相談所設置市・市町村（NPO法人等に委託可）

実施期間

令和3年度～令和5年度末

特定妊婦等支援整備事業・特定妊婦等支援臨時特例事業（概要）

令和3年度補正予算（案） 602億円の内数（子育て支援対策臨時特例交付金）

事業概要

予期せぬ妊娠等、支援の必要性の高い妊産婦に対して、出産や今後の生活について落ち着いて考えることのできる居場所の提供を行うとともに、産婦本人の養育方針や養育の不安等に応じて必要な支援機関へとつなぐ体制を構築することにより、妊産婦の孤立化を防ぎ、虐待の重篤事案の防止を図る。

特定妊婦等支援整備事業（整備費）

【事業内容】

支援の必要性の高い妊産婦に対する安定的な支援の推進を図るため、心理的ケアや生活相談支援等を行う居場所の整備に必要な整備費と改修費の支援を行う。

【実施主体】 都道府県、市、福祉事務所設置町村
（社会福祉法人やNPO法人に委託可）

【補助割合】 国 2 / 3、都道府県等 1 / 12、事業者 1 / 4

【補助基準額（案）】 1世帯当たり 8,588千円

特定妊婦等支援臨時特例事業（運営費）

【事業内容】

支援の必要性の高い妊産婦を通所又は宿泊で受け入れて、心理的ケアや生活相談支援等を行うための看護師等の配置や妊産婦を受け入れた際に要する生活費等の支援を行うとともに、支援ニーズ等の実態把握や関係機関との連携に必要な費用の支援を行う。

【実施主体】 都道府県、市、福祉事務所設置町村
（社会福祉法人やNPO法人に委託可）

【補助割合】 国 1 / 2、都道府県・指定都市・中核市・児童相談所設置市 1 / 2
国 1 / 2、都道府県 1 / 4、市・福祉事務所設置町村 1 / 4（市及び福祉事務所設置町村が実施する場合）

【補助基準額（案）】

基本分単価	1施設当たり	32,753千円
開設準備費加算	1施設当たり	4,000千円（上限額）
賃借料加算	1施設当たり	3,000千円（上限額）

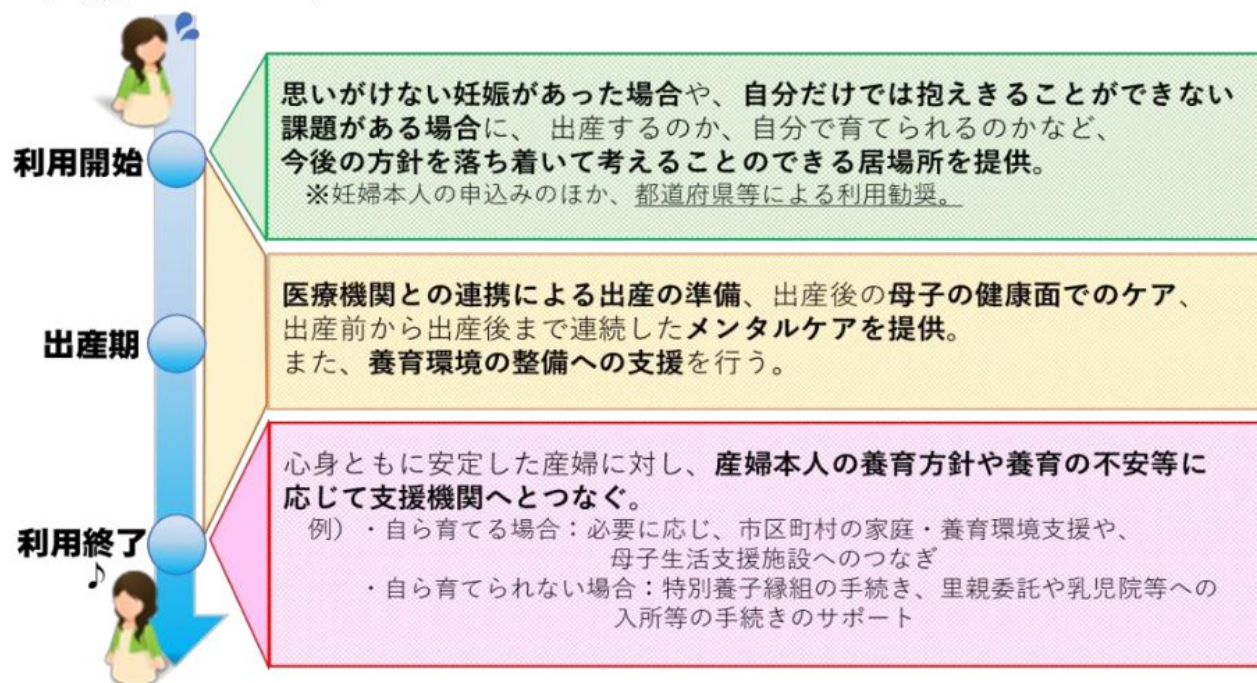
実態把握・関係機関連携経費支援

1都道府県等当たり 5,085千円

（参考）支援の様子



（支援のイメージ）



たいせつなのは、



「ここにいていいのだ」と思えること
「生きていていいのだ」と思えること

いつでも、
もどって来ることができる場があること

いつか自分のHOMEを
見つけられること。

「にんしん」をきっかけに、
誰もが孤立することなく、
自由に幸せに生きていける社会へ

